

シンポジウム

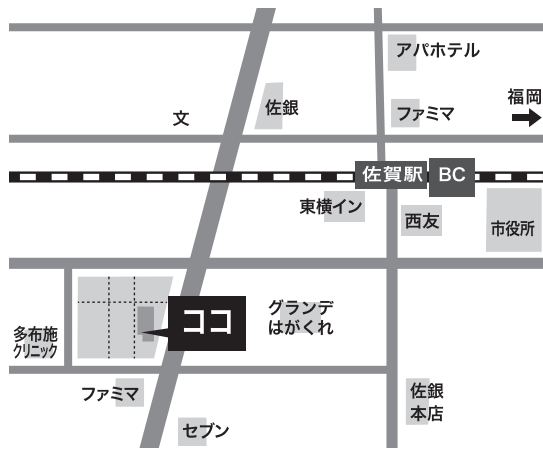
今こそ有明海の 現状と未来を 考えよう

入場料
無

【日時】平成25年

10 / 13 日

13:00~16:30



【場所】
アバレンセ 4階第一研修室
佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(とんぼんどの森内)

シンポジウムタイトル

第2回 “目前に控えた開門調査について考える”

開 会 / 主催者挨拶 < 13:00 ~ 13:05 >

有明海再生機構 理事長 / 荒牧軍治

第1部 / 基調講演 < 13:05 ~ 14:35 >

「有明海問題の現状と今後の道筋について」 < 13:05 ~ 13:45 >

有明海再生機構 顧問 / 川上義幸

「構造対立から創造的政策への転換」 < 13:45 ~ 14:35 >

北海道大学大学院 教授 / 宮脇淳

(休 憩) < 14:35 ~ 14:45 >

第2部 / 意見交換会 < 14:45 ~ 16:30 >

◎座長

■有明海再生機構 理事長 / 荒牧軍治

◎コメンテーター

■九州大学 名誉教授 / 楠田哲也 ■九州大学 特命教授 / 小松利光

■佐賀大学 教授 / 大串浩一郎 ■有明海再生機構 顧問 / 川上義幸

開催趣旨

裁判で決定している開門調査の開始期限である12月が迫ってきました。司法が決定したことは確実ですが、調査費を除いた準備費だけで290億円の巨費を投じる調査であるにもかかわらず、開門調査で何が分かるのか、どのような環境改善が期待できるのかの議論は深まっています。また、関係者に開門問題の有明海再生問題という認識が強く、司法で開門が決まると、日に日に有明海再生問題に関心が薄くなっていることも気になります。その一方で、開門に対する反対活動は強まり、開門実施に向けて混乱の度合いが深まっています。開門調査が差し迫った今だからこそ、もう一度国任せでは無く地域自身で、有明海の現状と未来について考え、その中で開門調査の在り方を考えることは意義深いことです。NPO法人有明海再生機構では「今こそ有明海の現状と未来を考えよう」をテーマに、今年度の5月より3回シリーズでシンポジウムを予定しており、今回が2回目にあたります。